

「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

推進校実施報告書

1 学校名：熊本県甲佐町立甲佐小学校、白旗小学校、乙女小学校、龍野小学校

2 実施日時：2019（平成31）年1月18日（金）14：00～15：30

3 対象：各校5、6年生（計178名）

4 実践形態：オリンピックによる講演および実技体験

5 派遣オリンピック：水井 妃佐子 さん

（バドミントン バルセロナオリンピック9位、アトランタオリンピック9位）

6 授業内容：講演、実技体験

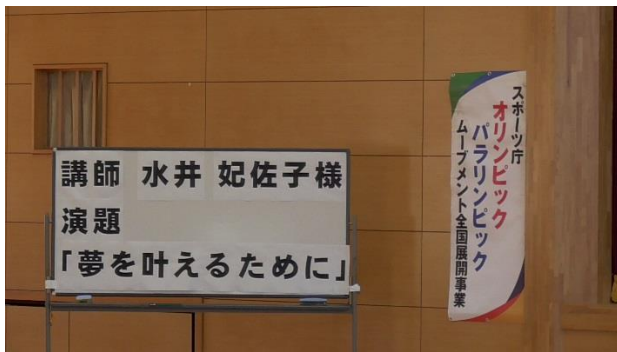
2019（平成31）年1月18日（金）に、熊本県甲佐町立甲佐小学校にて、バドミントンでバルセロナオリンピックおよびアトランタオリンピックに出場した水井妃佐子さんをお招きしたオリ・パラ教育の実践が行われました。当日は、水井さんによる講演会と、全体ならびに代表児童への実技体験が行われました。また、今回の実践は、甲佐小学校の体育館に甲佐町立の4つの小学校の児童が集合して、合同で行われました。

「夢を叶えるために」というテーマで行われた講演会は、水井さんがバドミントンを始めてからオリンピック出場に至るまでの過程で考えたことや感じたことを中心に展開されました。水井さんは、幼い頃から、習字、そろばん、ピアノ等たくさんの習い事を行っていましたが、バドミントン以外は長続きしませんでした。小学校2年生のときにバドミントンクラブに入った水井さんは、バドミントンをするのがとても楽しかったため、週2日の練習では満足できなくなってしまいました。そこで、小学校5年生のときに、週5日練習をして大会への出場を目指すようになりました。その成果もあり、小学校6年生のときには出身地の奈良県で3位になることができました。このとき水井さんは、1位になれなかった悔しさから、中学校では絶対に奈良県で1位になろうと決意しました。そこで、バドミントンの強豪校に進学しました。しかし、バドミントンの強豪校ゆえに、部員も多く、十分な練習ができない日々が続きました。そして、中学校1年生のときに出場した奈良県大会で、まさかのベスト16で負けてしまいました。県大会で1位になることを目指してバドミントン部の強い中学校進学したにも関わらず出鼻をくじかれてしまった水井さんは、練習環境を変える決意をします。そして、家族を説得して大阪にあるバドミントンの強豪校に転校することになりました。転校後は、自分の意思で転校をしたのだから、どんなに辛い練習があっても誰にも負けないという強い気持ちで練習に励みました。その結果、中学校3年生のときに全国大会で3位になることができました。このように実力が結果に結びつくようになり始めた水井さんでしたが、高校に進学して間もなく、全治3カ月の手のケガを負ってしまいました。そのときに、水井さんは手を使わないトレーニングを実施したり、チームのために雑務を行ったりしたことで、選手以外の人の支えによってチームが成り立っていることを強く自覚しました。このような経験を経て、高校3年生のときにはインターハイで優勝し、念願の全国1位になることができ、さらに20歳のときにはバルセロナオリンピックに出場することができました。このような自身の競技生活を振り返りながら、水井さんは、自分が楽しいと思えることを

大切にすること、自分の目標に向けて努力すること、そして周囲のサポートの重要性に気づくこと等のメッセージを児童に送られました。講演は、水井さんが児童に対して「バドミントンをやったことがある人?」、「習い事をしている人?」等、問いかけながら終始和やかな雰囲気で行いました。また、時折、水井さんが児童に伝えたいと思う重要なポイントはホワイトボードに書きながらお話されました。

実技体験では、スマッシュを受ける体験や水井さんと児童及び先生の対決等が行われました。最後に質疑応答と代表児童の挨拶があり、終了となりました。

7 講演・実技指導の様子



【講演会の会場】



【校長先生のお話】



【児童に問いかける様子】



【ポイントをホワイトボードに書きながら説明する様子】



【バドミントンのルール説明】



【ラリー体験】



【先生との対戦】



【質疑応答】